

はじめに



本市では、環境行政を総合的かつ計画的に推進するため、川崎市環境基本計画を策定し、地域における様々な環境施策に取り組んでいます。

今日の環境問題は、かつての産業公害などのように、要因とそれがもたらす結果の関係が比較的明らかなものへの対策が主な課題であったころとは状況が大きく変化してきています。因果関係が入り組んだものとなっており、私たちの生活や社会活動自体を原因とする環境への負荷が、私たち自身の生活環境に影響を及ぼしている場合も見られます。また、対策を考える上でも、地球温暖化問題などのように、地域での環境負荷が地球全体に及んでしまう場合や、私たちの世代による環境への負荷が、将来の世代に影響を及ぼす場合などについても意識していかなければなりません。

こういった環境問題の解決に向けて、一人ひとりの行動がより一層大事になってきている状況にあります。そして、これらの行動を広げていくことが大切であり、市民、事業者、市の協働の取組が大変重要となってきております。

環境の分野における協働の取組として、本市では、昨年10月に国内最大級となる太陽光発電所の建設を事業者と共同で行うことを発表し、その計画を推進しております。また、市民などを中心としたプロジェクトによる太陽光発電設備の設置、公園緑地の地元管理の推進、事業者の協力による大気汚染物質や化学物質の削減、町内会や学校PTA等による資源集団回収の実施など様々な取組を進めています。

本年4月には、本市の人口は140万人を突破しましたが、市民をはじめ本市で働き、学ぶ方々を含めた多くの皆様の活動が大きな力となります。今後ますます重みを持つこととなる環境分野での協働の取組に、この大きな力を活かしていくことができると考えておりますので、より一層の御協力をお願いいたします。

この環境基本計画年次報告書は、2008年度における市の環境の現状と施策の実施状況を取りまとめたものです。

本書を御覧いただきまして、本市の環境の現状を御理解いただくとともに、本市の環境施策に対する、市民の皆様からの貴重な御意見、御要望をいただければ幸いに存じます。

2009年12月

川崎市長

阿部孝夫